



### 幼児教育無償化の影響について

田中 まどか

**問** 10月から始まる幼児教育無償化による市の事務及び財政への影響は。

**答** 保育園の3〜5歳児約550名分の保育料算定事務が不要となるが、新たに幼稚園児約700名分の個人データ入力、園への給付金支払い事務等が生じる。保育料等は国2分の1、県4分の1、市4分の1の割合で負担し、市の負担はこれまでより約4千840万円増額となる。

**問** 無償化事務の煩雑さに入園手続き時期が重なり、担当課は多忙を極める。遅滞なくできるのか。

**答** 保育施設や利用者に支障が出ないよう計画的な事務の執行に努める。

**遠足に訪れる子どもたちの安全について**

**問** 高麗駅から巾着田方面に向かう幹線59号は歩道がなく危険である。ここは第4次通学路整備計画で拡幅予定の箇所でも

ある。優先順位を上げて整備すべきではないか。

**答** 現時点で整備は考えていない。引率者に注意をお願いしたい。

**問** 古民家、公民館、小学校、公会堂、寺などをグリラ豪雨や川の増水、落雷等からの避難所として登録し、マップに載せるなどの対策ができないか。

**答** 今後研究する。

**問** 遠足のルート上の除草剤の使用抑制は。

**答** 私有地での使用禁止は考えていない。



幹線 59 号を行く遠足の列

**女性職員の活躍について**

**問** 女性管理職の比率を令和3年度までに14%とする目標の進捗は。

**答** 主幹級以上の管理職103名のうち女性7名で、比率は6.8%。管理職候補である主査級職員108名のうち女性40名で、比率は37%まで上昇している。

**問** 女性職員の管理職登用についての課題は。

**答** 近年男女問わず管理職を目指す職員が減少傾向にあるが、女性の場合には仕事と家庭の両立を考慮して踏み切れないケースがある。働き方改革を進める中で時間外勤務の縮減などに取り組んでいく。

**問** キャリア形成上重要な部署に女性職員が適正に配置されているのか。

**答** 広い視野を身に付け、豊かな行政経験を積める人事配置を行っていく。



### 小中一貫教育について

金子 博

**問** 日高市が目指す小中一貫教育の方向性は。

**答** 中1ギャップの解消や、小学生と中学生が触れ合うことによる自尊感情の高まり等を期待して、小中一貫教育を行っていく。大規模校では、教職員数が多いことを生かし、学力向上や不登校対策等の課題解決に向け、組織力を生かした小中一貫教育の実現を期待していく。小規模校では教職員間の意思疎通が図りやすいことを生かし、きめ細かな指導や児童生徒一人一人に配慮した小中一貫教育を期待していく。



小中一貫教育が進む高萩小・中学校

社会教育の学びの場としての役割を果たしていく。

管理に努めるとともに、整備計画を検討していく。

**交通事故防止について**

**問** 交差点での事故防止について市の対応は。

**答** 県から歩行者に対する安全対策についての通知があり、自動車が安易に歩道に侵入できない対策など、新たな視点から通学路などの安全点検を行い、歩行者の安全確保に努めていく。

**交通弱者の救済について**

**問** 高齢者の増加による交通弱者救済の施策は。

**答** 様々な移送手段との連携を図るとともに、高齢者等お出かけ支援事業の内容検討や、他の自治会などにおける地域自主運行事業の実現可能性の検討を進めるほか、国の動向を注視し移動手段の情報収集や研究に努めていく。

**公民館の現状について**

**問** 老朽化した公民館の整備計画は。

**答** 市では、安全で快適に利用できる公共施設の提供と、財政の健全化に向けた効果的な更新・改修、維持管理等による長寿命化を図るための方針として、公共施設長寿命化計画を策定した。今後は、同計画に基づく施設